

委員各位

第379回産業事情検討会のご案内

第379回の産業事情検討会を以下の通り開催致します。

当案内状と共にEメールによるご案内も送信しております。同封の葉書またはFAX、あるいはEメールのいずれかで出欠の有無をご連絡頂きますようお願い申し上げます。

記

<テーマ> ショルトツ新政権が起こす社会変革
 -ドイツはどう変わり、世界をどう変えていくのか

■講 師：高野 弦 氏
 朝日新聞社 広報部主査
 (前ベルリン支局長)

■司 会：大塚壽広
 (株)現代経営技術研究所 主任研究員

●日 時：2022年1月28日(金) 15:00~17:00

●開催方式：Zoomによるオンライン開催

今回は講師に「愛国とナチの間 メルケルのドイツはなぜ躓いたのか」(朝日新聞出版 2020年刊)の著者(朝日新聞前ベルリン支局長)の高野弦氏をお招きします。同書は氏の取材を通して難民問題、右翼政党 AfD の台頭等に揺れるドイツ社会を等身大に描き出すとともに岐路に立つドイツ政治の現在を多面的に解明し、高い評価を得ています。

氏のお話をうかがい、社会民主党(SPD)、緑の党、自由民主党(FDP)の連立で船出したショルトツ新政権が挑戦する社会変革とその対外政策の展望を検討します。その中から日本社会の今後を構想する上で手がかりを発見できるものと思います。皆様の是非のご参加をお勧めします。

I. ドイツの現在—メルケル長期政権からの正と負の遺産

II. 信号機連立—ショルトツ新政権が挑戦する社会変革

III. グローバル秩序を変えるドイツの対外政策の行方

- 緑の党の連立参加で気候変動問題へのイニシアティブが強硬になるのか
 - 難民と人権—EU内の対立と亀裂を乗り越える交渉力をどう発揮するか
 - 中国の一带一路建設と人権問題とどう向き合っていくのか
 - プーチンロシアとの対峙—「対決と協調」はどこまで可能なのか
- 他

IV. 講師提言と質疑応答

<講師紹介>

高野 弦 (たかのゆずる) 氏

朝日新聞社 東京本社広報部主査。早稲田大学政経学部卒業後、朝日新聞社に入社。宇都宮、浦和支局、東京本社経済部、アジア総局(バンコク)、ニューデリー支局を経て、2016年~2019年までベルリン支局長。この間、経済部次長、国際報道部次長・部長代理を務める。主著「愛国とナチの間 メルケルのドイツはなぜ躓いたのか」(朝日新聞出版 2020年刊)。



現研 (株)現代経営技術研究所